

173

歴史散歩



こうづべたじょうし 上津部田城址公園

一身田上津部田の三重県総合文化センター西側を通る市道にある、短いトンネルの上には上津部田城址があります。発掘調査を行った後、道路工事で消滅した部分を復元し、史跡公園として平成6年に整備されました。



上空からみた上津部田城址公園

上津部田城は、志登茂川流域の平地を見下ろす丘陵の北端部に位置する戦国時代の城です。発掘調査では、四方が土塁で囲まれた主郭から礎石をもつ門や掘立柱建物、井戸などが確認されました。また、深い空堀も良好な状態で残っており、門や掘立柱建物は3期にわたって建て替えが行われたと推測されます。加えて、土塁の南東隅には10cm程度の石が多数集められている遺構が見受けられ、合戦の際に敵に投げつけるためのものだったと考えられています。

上津部田城址の東約500mの位置に、かつてあった峯治城は、近辺では最大級の中世城館で、堀や土塁で防御を固めていました。発掘調査の後消滅しましたが、出土遺物には日常雑器が多いことから、居館としての性格も持っていたことがうかがえます。

上津部田城は規模の点では峯治城に遠く及びませんが、位置関係や時期などから両者の間に本城と支城の関係があったことが想定されています。江戸時代末に書かれたとされる、著者不明の「伊勢一国旧城跡附」には上津部田村に3カ所城館があったことが記されており、両者はこのいずれかに当たるものかもしれません。

時を経て、周辺には高田本山専修寺の国宝・御影堂や如来堂など、城が機能していた頃とは違った建造物も目に映りますが、往時の風景を一度思い浮かべてみてはいかがでしょうか。



復元された土塁



深い空堀

